

# 経営比較分析表

和歌山県 九度山町

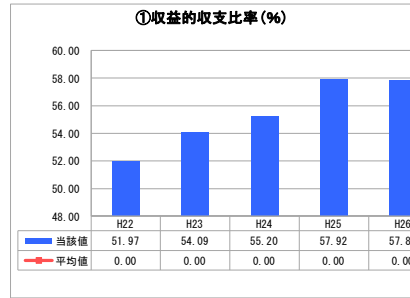
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	51.50	98.74	3,000

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,700	44.15	106.46
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,390	0.80	2,987.50

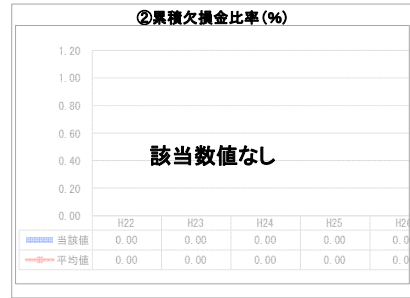
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



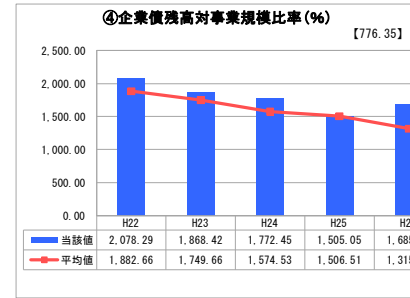
「単年度の収支」



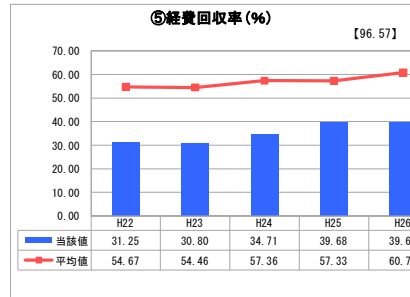
「累積欠損」



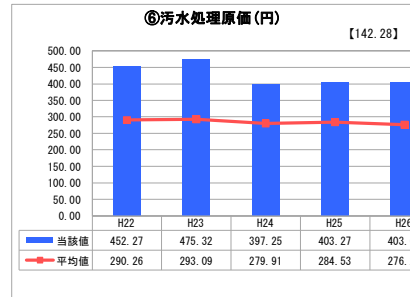
「支払能力」



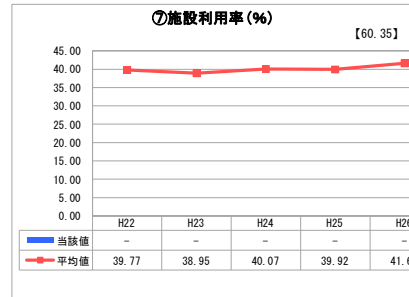
「債務残高」



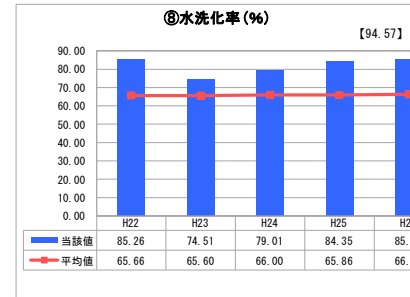
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

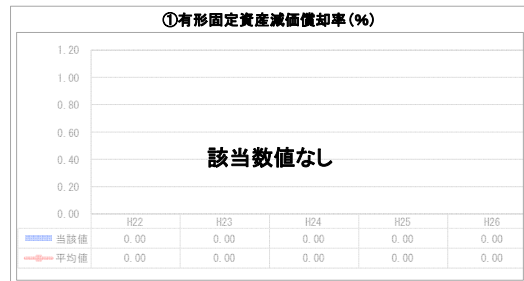


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

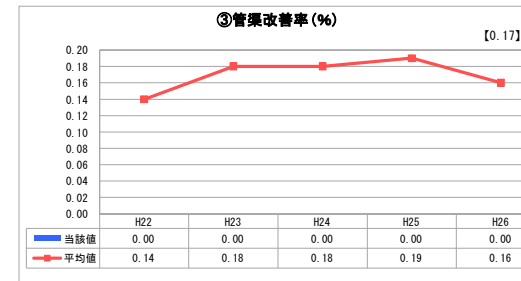
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

九度山町の公共下水道は水洗化率こそ類似団体を上回る⑧も汚水処理経費については、汚水処理原価が高く⑥維持管理費、資本費(借入金の返済)が高み、使用料で賄っているのは維持管理費の約60%となっており経費回収率が低い⑤、不足については、一般会計からの繰入金で賄っている状態である。また、県の紀の川流域下水道維持管理負担金の汚水処理単価についても段階的な増額が見込まれておりますます一般会計への依存が増加する状況にある。

### 2. 老朽化の状況について

本町の公共下水道は平成2年度から污水管渠を整備し管渠の耐用年数を超える管渠は存在しませんがマンホールポンプについては今後の課題である。

## 全体総括

人口減少、少子高齢化が続く限り経営は厳しくなる。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。  
 ※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。